

目標（14） 一人ひとりの元気と 健康づくりを応援します



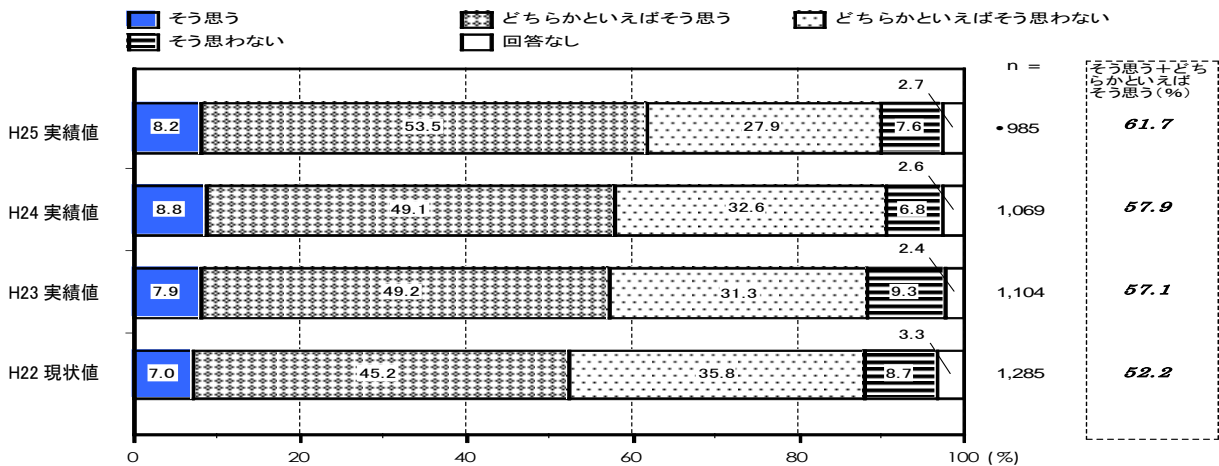
▲健康体操の様子

I. 目標と目標の達成状況

| 1. 目指す姿 | |
|--------------|--|
| 目標達成に向けての考え方 | 誰もが健やかに生きがいを持ち、はつらつと生活していくためには、何よりも健康が大切です。健康は自分で作り、守るものですが、個人の健康を支援する地域、事業者、関係機関の役割も重要であることから、ともに健康づくりをバックアップしていきます。 |
| 目標が達成された姿 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 健康や介護予防に関する知識が身についています。 ◇ 毎日、健康づくり活動が地域で展開されています。 ◇ 一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち、自分の体質・体調・病気について相談することができます。 ◇ 健康診査受診率が向上し、早期発見・早期治療ができ、健康寿命が伸びています。 |

2. 市民意識調査結果

【設問】一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う



3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

| 1) 日常的に運動やスポーツを行っている人の割合 | 2) 栄養や食生活に気をつけている人の割合 | 3) かかりつけ医を持っている人の割合 |
|--|--|--|
| <p>H25 目標値 40%</p> <p>H22: 34.3%, H23: 35.5%, H24: 34.8%, H25: 36.0%</p> | <p>H25 目標値 83%</p> <p>H22: 80.2%, H23: 80.3%, H24: 80.4%, H25: 81.4%</p> | <p>H25 目標値 72%</p> <p>H22: 68.4%, H23: 71.5%, H24: 73.5%, H25: 72.8%</p> |

4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆目標を「応援」するための柱としての「達成指標」を＜運動＞＜栄養＞＜医療＞としている。この3本の柱の指標を達成するためには、①情報や知識 ②健康づくりを始める行動のきっかけ ③行動を続けるための仕組みや環境 が必要である。
- ◆指標全てにおいて現状値からの向上が見られたものの、目標値に達していない指標もある。

II. 目標達成のための主な取り組み

| こんなことに取り組みます！ | 何を・どうした | いつ |
|--|--|------------------|
| ★「シニア大学」などの学習の機会の提供や、高齢者の健康づくりやボランティア活動に対する新たな支援制度を構築し、生きがいと健康づくりを応援します。 | ①高浜市いきいき健康マイレージ活動を開始した。（ポイント付与開始） | H23.5 ～H26.3 |
| | ②高齢者の居場所である「健康自生地」の認定を開始した。 | H25.9 ～H26.3 |
| | ③情報誌「まいにちでかける でいでーる」の刊行及びホームページ「たかま元気 de ねっと」の運用を開始した。 | H25.10 ～H26.3 |
| ★地域密着型施設など、高齢者の実態を踏まえた介護サービスを提供します。 | ①介護保険審議会において、施設整備を位置づけ、第5期事業計画に反映した。 | H23.4 ～H25.3 |
| | ②事業者の公募、選定委員会の開催、事業者の決定を行った。 | H24.4 ～H24.6 |
| | ③地域密着型小規模特別養護老人ホームの事業運営を開始した。 | H25.4～ |
| ☆医療機関それぞれの役割分担のもと、連携を促進し、地域医療体制を充実します。 | ①定住自立圏共生ビジョン懇談会で、地域医療ネットワークの構築に向けて協議を行った。 | H23.4 ～H24.3 |
| | ②医療機関と刈谷豊田総合病院とのネットワークの接続を開始した。 | H24.10～ |
| | ③パンフレット「上手なお医者さんのかかり方」を作成し、PRを開始した。 | H25.1～ |
| ☆生涯を通じて健全な食生活を実践し、自らの健康を守るため、学校や地域などあらゆる場所や機会を通じて、食育を推進します。 | ①幼保学校等で食育ガイドラインを中心とした各種啓発を実施した。 | H23.4 ～H26.3 |
| | ②カワラッキー賞の実施及び食育発表会を開催した。 | H23.8 ～H26.3 |
| | ③食育ガイドライン（学齢期版）の見直しを行った。 | H25.4 ～H26.3 |

III. 課題と今後の取り組みの方向性

| 課題 | 今後の取り組みの方向性 |
|--|--|
| ①いきいき健康マイレージ制度の充実 ・参加（登録）人数を増やすとともに、生涯現役のまちづくりや New ボランティア人と連動した取り組みが必要である。 | ◇ 一人ひとりが役割を持って生きがいが見つけれられるよう、健康自生地をはじめとした、新たな担い手の発掘や育成に取り組むとともに、制度を見直して充実を図る。 |
| ②地域医療ネットワークの利用促進 ・より多くの市民に利用していただけるようPRを行う必要がある。 | ◇ より多くの市民に地域医療ネットワークを利用していただけるよう、その仕組みや利便性をPRする。 |
| ③高齢者の居場所及び生きがいづくり ・自宅に閉じこもりがちな高齢者が増えている。生活が単調で不活発になると、認知症に陥るリスクが高まる。 | ◇ 介護保険制度の見直しに先駆け、要支援サービスが受けられなくなる人たちの受け皿づくりとして、また、高齢者が自分らしく生きがいを持ち、尊厳のある活発な暮らしを実現させるために、生涯現役のまちづくりを推進していく。 |

IV. 第6次高浜市総合計画推進会議 コメント